

# 目標設定シート (2010年度)

## 部局と評価項目・要素

対象部局	国際学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

## ○2010年度からの目標

1. 1年次に履修する国際基礎科目の基礎演習科目「基礎演習A」、「基礎演習B」、「Basic Seminar A」、「Basic Seminar B」は、原則として国際専門科目担当の専任教員全員が担当し、1クラス当たりの人数を、10～20人とする。
2. 3年次、4年次の国際専門科目の研究演習科目（「研究演習I」、「研究演習II」、「Research Seminar I」、「Research Seminar II」）も、原則として国際専門科目担当の専任教員が担当し、1クラスあたりの人数は、10～20人とする。
3. 毎学年度の始めに、全科目のシラバスを学生にWEBにて提示する。
4. 国際学部カリキュラム委員会を設置し、毎年度、成績評価が（原則に従って）厳格に行われているかを検証する。

## ○指標

1. 指標：基礎演習科目「基礎演習A」、「基礎演習B」、「Basic Seminar A」、「Basic Seminar B」の1クラス当たりの平均人数の超過率  
評価基準：1.0以下・・・評価A、1.01-1.20・・・評価B、1.21-1.40・・・評価C、1.41以上・・・評価D（2013年度に評価Bを目指す）
2. 指標：「研究演習I」・「Research Seminar I」、「研究演習II」・「Research Seminar II」の1クラス当たりの平均人数の超過率  
評価基準：1.0以下・・・評価A、1.01-1.20・・・評価B、1.21-1.40・・・評価C、1.41以上・・・評価D（2013年度の達成を目指す）
3. 指標：全科目数に対するシラバスの掲載率  
評価基準：95%以上・・・評価A、90%以上・・・評価B、85%以上・・・評価C、85%未満・・・評価D（2013年度の達成を目指す）
4. 指標：当該年度における、カリキュラム委員会での検証の有無  
評価基準：実施した・・・評価A、実施しなかった・・・評価D